

2013年  
4月1日

No.162

# さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

## さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

20  
13  
春闘

## 金融ユニオン第3回中央執行委員会 労働相談・団体交渉など各地で奮闘

金融ユニオン第3回中央執行委員会が、3月31日、静岡労政会館において開催されました。さざなみネットから山崎書記長が参加しました。

(議題)

- 活動報告・各支部の状況について

前回の中央執行委員会以降、東京と大阪の仲間が、退職勧奨・人権侵害・賃金大幅引き下げの改善を求めて、組合に加入されました。

新入社員全員に資料を送付したり、入社式に会場でリーフ・ピラを配布する計画を立てて、組合加入を呼びかける経験が報告されました。

- 春闘要求・上期臨給要求状況について

多くの組合が3月5日の金融労連春闘統一要求日を中心に、春闘要求をしました。三菱東京UFJ・みずほのメガバンクで臨給に改善が見られるものの、大部分は具体的な回答までには至っていません。

職場の特徴として、人事制度の変更、派遣労働者の直雇用化、パワハラ・セクハラ撲滅のための規定化、時間外手当不払いの改善、降格・降給制度と評

価ポイントの見直しなどで団体交渉がされていることが報告されました。

- 裁判で闘っているところの状況について

2つの金融機関で3つに裁判を闘っています。4月に新たに提訴の予定があり、裁判の傍聴など支援をしていくことを確信しました。

- 金融財務総行動について

東京・大阪・名古屋の行動について相談しました。

- 機関紙について

記事・写真・職場だよりなどについて担当者を決め、編集計画を立てました。

- 次年度役員選挙日程について

中央執行員と会計監事の本部役員について日程などを決定しました。

- ホームページについて

毎月更新されているので、みんなで内容を確認し、よりよい画面にしていくことを確認しました。

- 第5回定期全国大会の日程について

8月31日、豊橋で開催することを決定しました。



### 職場の声

#### パートの条件のまま期間のない契約に

ある職場では、4月から労働契約法が改正されたので、希望すればパート労働者の労働条件のまま、期間の定めのない契約になれる制度ができたそうです。1年ごとの契約更新がなく、続けて安心して働けると喜んでおられました。

#### 「帰れ、もう来るな、顔も見たくない」

私の職場の上司は、感情の起伏が激しく抑えられないと、すぐに「帰れ、もう来るな、顔も見たくない」と言います。言われた人は、ただ黙って座って我慢するのみ、周りもいたたまれません。支店長などは黙認しているのか、何も指示しません。どうしたらいいのでしょうか。



岩波 美智子さん 画

## 【アピール】

# 2013年春闘でのたたかいを引き続き強めよう -国民春闘共闘委員会常任幹事会からのアピール-

3月13日の第一次集中回答日に向けて交渉を積み上げ、「50万人総行動」の成功に尽力いただいた組合員の皆さんに、心からの感謝の言葉を送ります。



13日までに、9単産と地方春闘共闘結集の174組合が回答を引き出しています。昨春闘を上回っています。回答状況も、単純平均（組合平均）5640円・1.86%であり、これも昨春闘の同時期集計を567円・0.19ポイント上回る結果です。

この春闘では、政府やマスコミがデフレ不況克服には賃金改善が必要との「メッセージ」を繰り返し発しています。その「追い風」も活かした職場のたたかいが強められたことが同える現段階の到達点です。

しかし、提出した要求や組合員の生活実態からすれば不十分な回答です。そのことから14日には多くの単産が統一ストライキや職場集会、地域行動などに立ちあがり、要求の正当性を訴え、回答引き出しと積み上げを企業に迫り、賃金改善の重要性を世論に訴えました。

国民春闘として提起した3月13日、14日の「50万人総行動」には、13日の重税反対行動を中心に135万人が、14日のストライキを含む行動には115万人が参加し、終日の行動を展開しています。めざした行動の規模にはなりませんでしたが、昨年を上回る25万人が参加し、国民春闘をアピールする状況を作り出しました。

連合傘下の自動車、電機などの製造業大企業労組への回答も、3月13日に行われました。

「定昇維持と一時金改善」を要求していたトヨタ、日産、ホンダなどの自動車労組に対する回答は「満額回答」、ほぼ同様の要求を出していた電機の日立、三菱電機など電機の労働組合へは定昇維持と業績連動の一時金改定の回答が行われています。

政府などからの「追い風」についての感想を求められた金属労協の議長は記者会見で、「責任ある要求を掲げた。労使自治で決定することが基本」と述べています。労働者・国民の願いとの乖離が際立つ発言です。そのこともあって、連合傘下の労働組合では、流通関係などで一部先行してベースアップを獲得したところもありますが、少数にとどまりました。多くは、定昇維持程度に押さえこまれているのが現時点です。

それだけに国民春闘共闘としてのたたかいを継続し、定昇程度に賃金を抑制しようとする財界の攻撃をはねかえし、最低賃金時給1000円以上の実現も含め、賃金の底上げ改善を求めるたたかいを職場と地域の双方で粘り強く展開しましょう。国民春闘共闘委員会は、4月10日に次の集中回答日を設定し、力の集中を呼びかけます。

安倍政権が進める「アベノミクス」の具体化ともかかわって、TPP参加や労働法制の規制緩和、原発再稼働の動きが急です。憲法9条に焦点をおいた改憲の動きも本格化してきています。賃金、労働条件の改善をめざす職場のたたかいと、くらし、雇用を守り、平和を守る国民的な共同の取り組みを固く結合し、2013年春闘後段も意気高くたたかい抜きましょう。



2013年3月15日

国民春闘共闘委員会第4回常任幹事会